

介護福祉専門学校で霞空祭

体験通し福祉への理解深める

二本松市菅一丁目、福た。
 島介護福祉専門学校(森田 昴校長)の第二十三回霞空祭(長澤祥利実行委員長 石井夢歩自治会長)はさる六日、同校で開かれた。今回は「広げる輪 繋がる想い」をテーマに校内の講堂、学生ホール、入浴・介護実習室などを開放し



手話コンサートでは「校歌」「おどろいた、やきく」などを披露し「校へ卒業できなかつた君へ」は観客も一緒に手話を体験した。写真上は、ふくかいソランメンバー四人は「百花繚乱」「北の舞」で迫力のある踊りや「よっちよれ」でパフ

オーマンズを発表。手のお風呂、マッサージの手浴、写真下は、福祉用具体験と展示や福祉体験(自助具、服装ゼリーの試食、車イス体験、介護ロボット見学、口腔ケア展)などが行われ、来場者は学生から説明を受け気軽に体験しながら理解を深めていた。あ

だち福祉会の石澤孝理理事長も訪れ、学生らの活動を笑顔で見守っていた。



またハピネスショップでは福祉事業所が出店したクッキーやプリン、アクセサリー、小物などの展示・即売なども開かれた。校内の学生ホールや教室でもうどん、から揚げ、玉こんにゃく、ホットケーキ、カレー、きゅうりの浅づけ、バザーなど

の模擬店などが店開きし、家族連れやグループ、地域民らが訪れて各コーナーをめぐり、思いやりの福祉と介護について楽しく勉強していた。



- ・手話コンサート、よさいこい演舞、介護体験、飲食コーナー、バザー、手浴、有志発表など、がんばりました。
- ・同窓生が応援にかけつけ、うどんコーナーを出店してくれました。
- ・障害者支援施設のみなさんの作品などの販売もあり、交流の機会となりました